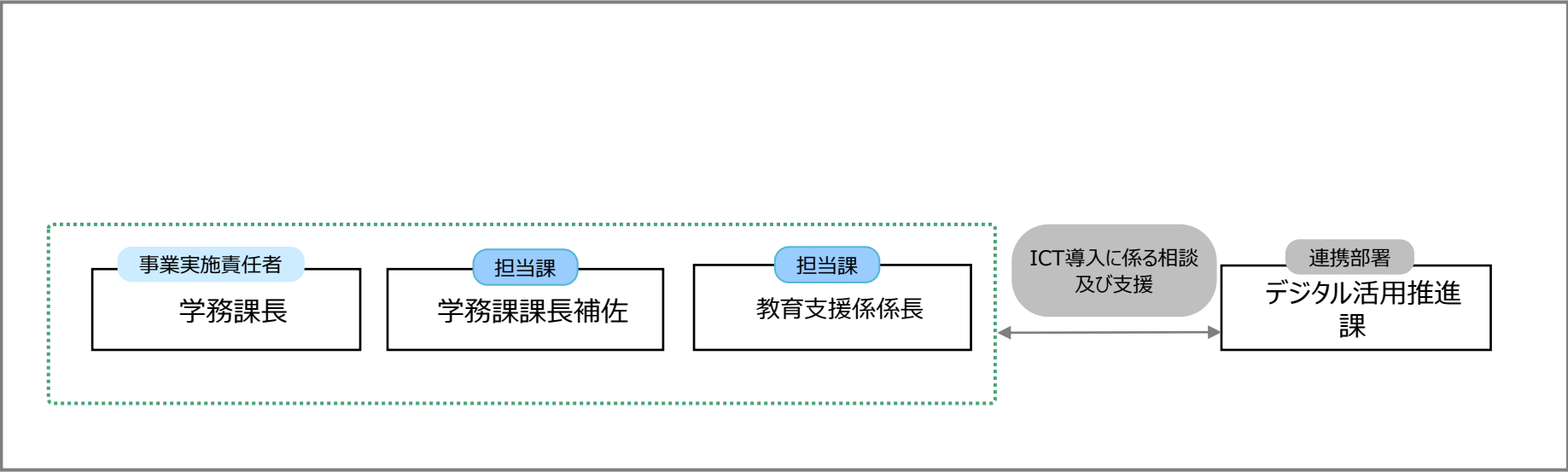


事業概要 【デジタル技術を活用した教育の推進事業】

自治体名	滋賀県野洲市	人口	50,603人	事業費	4,867,434円
事業概要	小中学校の学習者用1人1台端末にデジタルAIドリルを導入し、児童生徒の習熟度に応じた個別最適な学びを提供することで子どもたちの主体的な学びと学力の向上を図るとともに、習熟度の分析結果からきめ細かな指導につなげることを目指す。またデジタル採点ソフトを中学校教員の端末に導入することで、採点に係る集計の自動化やまるつけの効率化など教員の負担を軽減し、授業改善により時間を割くことができ、働き方改革につながる。				
具体サービス	【デジタルAIドリルの活用】 児童生徒各々の学習の理解度に応じた問題をAIを活用することで提供でき、一人ひとりの学習状況に応じた効率的な学習を提供することができる。（個別最適な学習の支援） 学習の過程で蓄積された学習履歴データをもとに教員が授業の習熟度を把握しながら、それらの状況に応じたきめ細かな指導を行うことができる。 【デジタル採点ソフト導入事業】 これまで教員の負担となっていた採点作業や集計作業を自動化し、子どもたちの学習の習熟度を分析することでフォローアップや授業改善により時間を使うことができる。これらの負担軽減は教員の働き方改革にもつながる。 <pre> graph TD EC[教育委員会] --> CS[児童生徒] EC --> T[教員] SP[サービス提供事業者] --> EC SP --> CS SP --> DAI[デジタルAIドリル] CS --- CS_Box[] CS_Box --- CS_Label[個別最適な学び] T --- T_Box[] T_Box --- T_Label[学習支援・授業改善] DAI --> CS_Box DGP[デジタル採点ソフト] --> T_Box </pre>				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①児童生徒のAIドリル活用状況（授業及び家庭学習での活用状況） ②自動採点業務支援システムの利用回数 【アウトカム指標（成果指標）】 ①児童生徒の家庭学習時間 ②デジタル採点ソフトの利用満足度 ③児童生徒の授業に対する理解度				

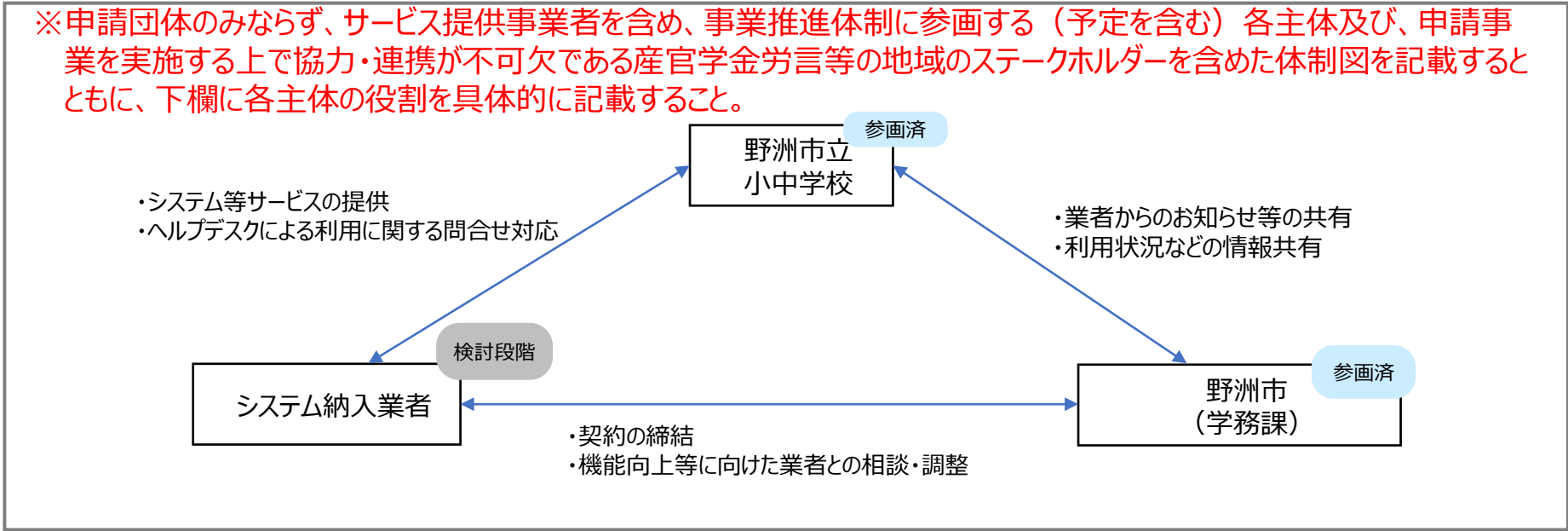
■ 庁内の推進体制



【各課室の役割】

名称	名称	役割
事業実施責任者	学務課課長	・ 事業全体のマネジメント・進捗管理
担当課	学務課課長補佐	・ システムの調達、活用促進に関する検討
担当課	教育支援係係長	・ AIドリルの活用状況の確認及び学習活動への活用に関する指導・相談、小中学校との調整
連携部署	デジタル活用推進課	・ ICT導入に係る相談及び支援

■ 事業推進体制



名称	役割
野洲市 (学務課)	・ 事業計画の立案 ・ 報告書作成をはじめとする事業全般の管理 ・ 機能向上に向けた業者との相談・調整
野洲市立 小中学校	・ 児童生徒情報の管理（登録・削除等） ・ AIドリルを活用した学習の推進 ・ デジタル採点ソフトの活用
システム納入 業者（事業 者）	・ システム等サービスの提供 ・ ヘルプデスクによる相談等の対応 ・ 要望に基づく機能向上に向けた検討

名称	役割